

2022年度(令和4年度)
多機能型施設(生活介護事業・自立訓練(生活訓練)事業)
横浜市中山みどり園
事業報告書

1. 在籍人数(各月1日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
横浜市	男性	28	28	28	28	27	27	27	27	27	27	26	26	27.2
	女性	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13.0
	小計	41	41	41	41	40	40	40	40	40	40	39	39	40.2
逗子市	男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
葉山町	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
合計	男性	29	29	29	29	28	28	28	28	28	28	27	27	28.2
	女性	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14.0
	合計	43	43	43	43	42	42	42	42	42	42	41	41	42.2

2. 入所・退所状況

	入所	退所	理由		入所	退所	理由
4月				10月			
5月				11月			
6月				12月			
7月		1	移行先決定のため	1月			
8月				2月		1	死亡のため
9月				3月			
				計	0	2	

3. 利用者の年齢及び性別状況(3月末日現在)

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
15～19歳	0	0	0	0.0 %
20～29歳	1	3	4	9.5 %
30～39歳	8	0	8	19.0 %
40～49歳	17	7	24	57.1 %
50～59歳	2	2	4	9.5 %
60～64歳	0	0	0	0.0 %
65～69歳	0	0	0	0.0 %
70～79歳	0	2	2	4.8 %
80～89歳	0	0	0	0.0 %
90歳以上	0	0	0	0.0 %
合計	28	14	42	100.0 %

平均年齢		3月末日
男性	38.1	歳
女性	46.6	歳
全体	41.4	歳

4. 障がい支援区分

	男性	女性	計	構成比
区分1			0	0.0 %
区分2			0	0.0 %
区分3		1	1	2.4 %
区分4	3	1	4	9.5 %
区分5	5	5	10	23.8 %
区分6	20	7	27	64.3 %
区分なし			0	0.0 %
計	28	14	42	100.0 %

待機者(3月末日現在)	0名
生活介護	
欠員(3月末日現在)	5名
自立訓練	

5. 在籍期間の状況

	男性	女性	計
1年未満	0	1	1
1～5年未満	1	0	1
5～10年未満	3	2	5
10～15年未満	5	3	8
15～20年未満	3	3	6
20年以上	16	5	21
計	28	14	42

6. 通所(活動)及び利用状況

	通所(活動) 日数	定員	在籍 人数	通所(利用) 延人数	定員あたりの 通所(利用)率%		通所(活動) 日数	定員	在籍 人数	通所(利用) 延人数	定員あたりの 通所(利用)率%
4月	23	40	43	774	84.1 %	10月	23	40	42	780	84.8 %
5月	22	40	43	714	81.1 %	11月	24	40	42	834	86.9 %
6月	25	40	43	807	80.7 %	12月	23	40	42	779	84.7 %
7月	24	40	43	761	79.3 %	1月	23	40	42	678	73.7 %
8月	22	40	42	703	79.9 %	2月	22	40	41	780	88.6 %
9月	24	40	42	775	80.7 %	3月	25	40	41	764	76.4 %
				計			280			9,149	81.7 %
				前年度			280	40		9,490	84.7 %

7. 行事報告

	行 事	余暇活動等	会議等	その他
4月	体重測定 トランスフィットネス	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(2回)	家族教室
5月	体重測定 トランスフィットネス 園外宿泊訓練	全体活動 キッチンカー昼食 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(2回)	
6月	体重測定 トランスフィットネス 園外宿泊訓練	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(2回)	家族教室
7月	体重測定 トランスフィットネス 園外宿泊訓練	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(1回)	
8月	夏祭り 体重測定 トランスフィットネス	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談	
9月	体重測定 トランスフィットネス	全体活動 キッチンカー昼食 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(1回)	新型コロナウイルス ワクチン接種
10月	体重測定 トランスフィットネス 園内宿泊訓練	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(2回)	
11月	体重測定、コンサート トランスフィットネス 園内宿泊訓練	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(2回)	
12月	体重測定 トランスフィットネス 園内宿泊訓練	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(2回)	
1月	体重測定、新年会 トランスフィットネス 園内宿泊訓練	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(1回)	
2月	体重測定 トランスフィットネス	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談	新型コロナウイルス ワクチン接種
3月	体重測定 トランスフィットネス	全体活動 練り切り体験	管理者会議、事務連絡会議、 職員会議、リーダー会議、健 康相談、Dr相談(1回)	家族教室

8. ボランティア参加状況

	延人数		延人数
4月	9	10月	14
5月	12	11月	10
6月	10	12月	14
7月	4	1月	7
8月	9	2月	9
9月	12	3月	10
	計		120
	前年度		20

9. 研修報告

(1) 法人内・施設内研修

	日付	研修内容	参加者
1	4月22日	自閉症研修	副主任2名、支援員1名
2	5月27日	自閉症研修	副主任2名、支援員1名
3	6月24日	自閉症研修	副主任2名、支援員1名
4	7月29日	自閉症研修	副主任2名、支援員1名
5	7月25日	入職前研修	支援員2名
6	8月26日	自閉症研修	副主任1名、支援員1名
7	9月27日	3,4年目「チームリーダー」研修	支援員2名
8	9月30日	自閉症研修	副主任2名、支援員1名
9	10月21日	自閉症研修	主任1名、副主任1名、支援員1名
10	11月25日	自閉症研修	主任1名、支援員2名
11	12月23日	自閉症研修	主任1名、副主任2名
12	1月27日	自閉症研修	主任1名、副主任1名
13	2月15日	佐瀬相談役研修(中堅職員対象)	主任1名、副主任1名
14	2月22日	苦情対応研修	支援員1名
15	2月22日	佐瀬相談役研修(入職3年目まで対象)	副主任1名、支援員2名
16	2月24日	自閉症研修	副主任2名
17	3月9日	佐瀬相談役研修(入職3年目まで対象)	副主任1名
18	3月17日	自閉症研修	副主任2名

(2) 法人外研修

	日付	研修内容	参加者
1	6月17日	マネジメント強化セミナー	副主任1名
2	7月19日	安全運転管理者法定講習	副主任1名
3	7/21、23	社会福祉士実習指導者研修	支援員1名
4	9/16-19	強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)	支援員1名
5	11/11、14	サービス管理責任者基礎研修	支援員1名
6	11/25、30	サービス管理責任者基礎研修	支援員1名
7	2/15-17	強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)	支援員1名
8	2/17-19	強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)	支援員1名

10. 防災報告(避難訓練等)

	日付	内容
1	4月18日	避難訓練(地震)
2	4月28日	防犯訓練
3	5月20日	水害訓練(垂直)
4	6月21日	避難訓練(地震)
5	7月25日	避難訓練(火災)
6	9月1日	法人防災訓練(地震)
7	10月11日	避難訓練(火災)
8	11月10日	避難訓練(地震)
9	12月13日	避難訓練(火災)
10	1月23日	避難訓練(地震)
11	2月10日	避難訓練(火災)
12	3月10日	法人防災訓練(地震)

11. 事故報告等

(1) 事故報告

	日付	事故内容	対応
1	8月31日	体温計の電池交換を利用者が待ちきれず、職員を殴りました。	・殴られた職員は通院しました。 ・体温計の電池交換などは他職員に依頼するようにします。 ・声かけ等伝え方の見直しをしました。
2	9月13日	利用者へ予定が伝わっておらず、混乱し、対応した職員が負傷しました。	・利用者への予定等情報の伝え方の見直しをしました。
3	10月10日	介助による口腔ケア時に歯間ブラシの先端(金属)が取れて誤飲しました。	・救急搬送しましたが歯間ブラシの金属ワイヤーはレントゲンに映りませんでした。 ・痛みのお訴えもないため様子観察を行いました。 ・歯間ブラシを金属製のものからシリコン製のものに変えました。

4	10月28日	転倒発作により本人のエリア内にあったクリップに頭部をぶつけて4cm裂傷しました。	・整形外科へ通院しました。 ・縫合の必要はないと医師に言われて軟膏のみ処方され塗布するよう指示を受けました。
5	1月16日	利用者への予定伝達が母と職員で食い違いがあり帰りの園バスで混乱を起こし、バスの窓ガラスを割りました。	・本人を含めて怪我人はいませんでした。 ・本人に伝わる予定等の情報がご家族と職員で食い違わないように、ご家族との連携を見直しました。
6	2月10日	登園のための送迎時に、車内で混乱した利用者に職員が腕を噛まれ怪我をしました。	・利用者混乱時の対応方法を見直しました。 ・怪我をした職員は看護師に処置してもらい、職員自身の判断により通院はせず午後から支援に戻りました。

(2)インシデント

	件数		件数
4月	0	10月	0
5月	1	11月	0
6月	0	12月	0
7月	0	1月	0
8月	0	2月	1
9月	0	3月	0
計		2	

(3)ヒヤリハット

	件数		件数
4月	2	10月	1
5月	1	11月	2
6月	2	12月	3
7月	1	1月	1
8月	1	2月	3
9月	2	3月	6
計		25	

(4)車両事故

	日付	事故内容	対応
1	4月26日	信号待ちの際に後続車に追突されました。	相手方の保険で公用車のへこみを修理しました。
2	5月23日	信号のある交差点右折時に、横断中の歩行者に接触しました。	・相手方は打撲等により通院しました。謝罪するもそれ以上は取り合ってもらえませんでした。 ・ルートミスによる焦りが一因のため、出発前に添乗者との行先確認をします。右左折時横断歩道前で一時停止します。
3	1月31日	信号のない三叉路にて、前の車の発進を待っていたところ、突如後ろに下がってきて接触した。	・当方運転手本人は事前体調確認、アルコールチェック良好でした。 ・ナンバープレートが変形しましたが軽微のため修理はしませんでした。
4	2月8日	敷地内駐車場にバックでの進入を試みたところ、敷地内の金属製の手摺に右側テールランプを接触させた。	・私有地のため警察へは連絡しませんでした。 ・右側テールランプ破損を修理しました。 ・手摺は無傷でした。 ・後方確認前に動き出さないように周知しました。

12. 苦情報告等

(1)苦情報告

	日付	苦情内容	対応
1		なし	

(2)クレーム・ご意見

	件数		件数
4月	3	10月	7
5月	8	11月	8
6月	16	12月	7
7月	17	1月	9
8月	18	2月	8
9月	6	3月	14
計		121	

ご意見=要望も含む

13. 第三者評価

第三者評価の実施 今年度実施予定。(前回 2019年度実施)

14. 利用者満足度調査

未実施

15. 今年度の重点目標

○今年度の重点目標

- 1、誰もが元気で明るい笑顔の絶えない職場づくりをめざします(人間性を高める・目標・目的を持つ)
- 2、権利擁護と利用者主体の支援に努めます(現場力の向上・専門性の向上)
- 3、コロナ禍が続く中、健全経営に努めます(事業の持続)

○今年度の取り組み

(1) 誰もが元気で明るい笑顔の絶えない職場づくりをめざします。

- ①人間尊重主義に基づき他を思いやり、誰も見ていなくとも、人の嫌がる仕事も進んで行う職員集団をめざします。
- ②職員間のコミュニケーションを図りやすくするための取り組みを行います。
- ③職員がお互いの特性を理解し、立場や勤務形態を超えて皆で認め合える場を作ります。
- ④職員の自己目標を設定し、目標獲得に向けた研修や自己研鑽を促します。
- ⑤雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保に関する法律等の主旨を踏まえ、ハラスメント対策について適切に対応します。

(2) 権利擁護と利用者主体の支援に努めます。

- ①利用者が選んだり楽しんだりできる選択肢を増やし、提供します。(外出・体験プログラムなど)
- ②法人内外他の事業所など外部との交流を通じ、利用者の活動の幅を広げるとともに職員の気づきの機会を作ります。(こころはずむアート展、交流研修など)
- ③職員がお互いの支援について、利用者の人権を配慮した支援を行っているか確認し合います。(Yネットへの参画・人権ツールの活用)虐待防止対策 人権研修年1回以上
- ④嘱託医との巡回時での相談や心理士による専門分野(自閉症)の研修会を継続して行うことにより職員の専門性の育成や職員間の支援の統一を図ります。

(3) コロナ禍が続く中、健全経営に努めます。

- ①感染の状況に関わらず、感染対策を継続実施します。
- ②感染症が発生した場合であっても事業の実施を継続できるよう、事業継続に向けた計画等を作成します。
- ③陽性者発生により、事業所が閉鎖になった場合は、可能な限り代替サービスの提供ができる体制を整えます。
- ④働き方改革によるワークバランスの確保のため、日直業務・休憩時間の安定確保・会議の効率化・記録やまとめの見直しを行います。
- ⑤災害時に福祉避難所として要介護者を受け入れるためのマニュアルを整備します。

上半期は、施設長、副施設長を始め、職員の異動や離職が多くありました。それに伴い業務負担のバランスが崩れ、体調を崩す職員やメンタルに不安を抱える職員が複数出ました。都度当該職員への面談等によるサポートや業務分担の確認、働き方の見直しへ向けた検討を行い、一人一人が健全に働くことができるように努めました。その一方、利用者への支援が途切れないよう、宇野先生等外部の方を交えながら、支援内容の確認やアドバイスを適宜受け、支援方針の確認や若手職員への教育に取り組みました。

下半期も、施設長、副主任を始め、職員の異動が多くありました。その結果、組織の基幹となる役職者のうち6人中4人が施設に来てまだ1年未満、あとの2人は新設される事業所の立ち上げ準備で多忙を極め、一時的に事業所全体の残業時間が増えました。ですが、上半期に引き続き、職員へ適宜面談等によるサポートを行い、働き方の見直しを行った結果、体調やメンタル不調を訴える職員は減り、コロナのクラスターが起こった際にも職員が一致団結して対応することができました。利用者への支援に関しても、個々で法人内外の研修を受けて専門性を高めたり、嘱託医の宇野先生を交えてカンファレンスを行うことでより質の高いサービスを提供できるように取り組みました。

16. 社会貢献活動

今期特に活動はありませんでした。

17. まとめ・活動報告

今期は園やバックアップのグループホームで新型コロナウイルスの陽性者がたびたび発生しました。その結果、感染が拡大してクラスターとなり、みどり園を一時的に閉園しました。ですが、職員が一致団結したことにより適切且つ冷静に対応することが出来ました。

今期は職員の動きが多くありました。引き続き利用者、職員の不安感を払拭することで、安心して通い、働けるよう環境を整えます。また、次年度は牛久保生活介護事業所の開所も控え、次年度に向けて、事業所開設に伴う業務や人の動きが想定されるため、そこに向けての準備も同時に進めます。